

「With コロナ時代における未来アイデア
応募用紙

○応募者
氏名・法人

・団体名	セーフィー株式会社
(法人・団体の場合)	
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)に規定する暴力団をいう。)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデアの部門を下記から1つ選んで丸(○)を記入してください。			
	未来デザイン部門	○	未来テクノロジー部門

アイデア名	「遠隔確認」で、移動削減&非接触コミュニケーションによる感染拡大防止対策
-------	--------------------------------------

提案の概要(200字以内)
クラウド録画型のウェアラブルカメラを業務に用いることにより、遠方の店舗、工場・倉庫、工事現場などへ移動せずとも映像と音声通信で現地の状況を確認でき、円滑なコミュニケーションが可能になります。LTE ルーター内蔵型のため、インターネット環境がない場所でも、電源を入れるだけですぐに利用開始でき、また衣類に装着しても定点で固定しても利用が可能な「人の目の代替」となるツールを未来の働き方にご提案します。

提案に当たっての現状・課題・背景 ※様式自由
<p>■現状</p> <p>「平成31年度(令和元年度)テレワーク人口実態調査 — 調査結果の概要」によると、飲食業や製造業、建設業などの現場を持つ業種では、情報通信業などのオフィスワーカーに比べるとテレワークの浸透率が半分〜約6分の1にも満たないと調査結果が記されており、“現場”を抱える業種ではなかなかテレワークの導入が浸透していない傾向があります。</p> <p>■課題</p> <p>なぜ“現場”ではテレワークが浸透しないかを考察すると、下記の3点が挙げられます。</p> <ul style="list-style-type: none">インターネット環境がないPC やタブレット、カメラなどのデバイスを持ち運びながら作業するのが難しい屋外や悪天候な環境デバイスを持ち歩かないといけない状況がある <p>■解決策</p> <p>クラウド録画型のウェアラブルカメラである製品「SafiePocket2(セーフィーポケットツー)」の仕様は現場の課題をクリアにします。</p> <ul style="list-style-type: none">インターネット内蔵ウェアラブルで持ち運び可IP67 の防水・防塵仕様 <p>「SafiePocket2」の活用によってテレワークの導入課題が解決し、遠隔業務が可能になることから、“現場”</p>

でのテレワークが浸透すると考え、すでに色々な業種からお問い合わせをいただいています。

■背景

すでに建設・土木現場では、国交省が2020年3月に「[建設現場の遠隔臨場に関する試行要領\(案\)](#)」を通達しており、公共工事の建設現場において「段階確認」、「材料確認」と「立会」を必要とする作業に遠隔臨場を適用して、受発注者の作業効率化を図ることを推奨されています。

また、2020年5月に通達があった「[令和2年度における遠隔臨場の試行について](#)」では弊社のウェアラブルカメラの仕様が適合しました。

その他、ダイヤモンド・プリンセス号から新型コロナウイルスの重症患者を受け入れられていた聖マリアンナ医科大学病院では、医療従事者への感染拡大防止対策にクラウドカメラをご利用いただきました。具体的な活用内容については、川崎市のHPで発表されている「[聖マリアンナ医科大学病院におけるCOVID19対応の検証](#)」レポートにて、「大画面による監視カメラ診療」で弊社のカメラ利用例を記載いただいています。

上記のように、すでにご活用いただいているケースがあることから、その他の業界でも感染拡大防止対策や業務の効率改善に活用が見込め、Withコロナ時代における未来アイデアだと応募しました。

提案を実施することによる効果、提案の実現可能性や実現に当たっての課題 ※様式自由

■実施効果・実現可能性

- 現地へ行かなくても現場の様子が視覚と聴覚で確認できる
→日報や電話だと伝え方のスキルにより、認識に相違が生じる場合がある
- 移動コストの削減
- 映像を技術の継承に活用
→人材教育や採用活動時のコンテンツとして利用可能
- 業務フローを見直すことで業務改善や働き方改革
- 現場でテレワークが浸透しない「不」を解決したツール

■課題

- 現場の人たちが監視されているのではとネガティブな感情につながる可能性
→何のために導入するのか事前の説明と納得を得ることを推奨
- IoTリテラシー不足による苦手意識
→電源入れるだけで操作可能なので、複雑なことはしなくて良い

提案の詳細 ※様式自由

■Safie(セーフィー)について

Safieは、スマホやPCでいつでもどこからでも映像が確認できるクラウド録画サービスです。

2017年から「クラウド録画サービスシェア No.1

(※)を獲得しており、現在国内シェア40%以上です。

(※)テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査」より

■特長

- スマホやPCで現地へ行かずにLIVEや録画映像を確認
- HD画質・30fpsの滑らかな映像品質
- 独自の技術で悪意のある攻撃や不正アクセスからの映像漏洩の心配がなくセキュアに利用可能
- 動体・音声検知や、シェア機能、映像のクリッピングなど機能が充実

また、AIや解析技術と連携した新サービスの開始やオプション機能追加の際に、ソフトウェアをアップデートするだけで、ハードウェアを変えずに新しいサービス及び機能を利用できる、クラウドならではの拡張性があります。

「映像から未来をつくる」をビジョンにかかげ、多くの方が手軽に使える映像プラットフォームとなり映像データが人々の意思決定にお役立ていただける未来を目指しています。

※「提案の概要」以下の項目は、適宜記入欄を拡張して構いません。

※様式自由となっている項目は、別ファイル(ワード又はPDF形式)で提出していただいても構いません。ただし、本応募用紙と合わせて最大20MBまでです。